



もとみや

議会だより

第88号

令和8年4月28日発行

3月定例会

さくら満開 入学式!



市議会HPでも公開中!



目次

・議案 Topic	P 2、3
・予算審査特別委員会特集	P 4～8
・常任委員会審査	P 9、10
・討論	P 10、11
・議決結果・賛否一覧	P 12、13
・市民との意見交換会	P 14
・委員会視察報告	P 14
・編集後記	P 14
・一般質問	P 15～21
・アンケート特集	P 22、23
・裏表紙 アンケート	P 24

裏表紙のアンケートにご協力をお願いします!

令和8年度予算

一般会計
予算額

歳入
歳出 **185億800万円**

昨年度より17億7,250万円の増

令和8年3月定例会は、令和8年3月2日に開会し、19日に閉会しました。令和8年度の本宮市の各種会計予算は予算審査特別委員会を設置し審議を行いました。

※R8.3.31の住民基本台帳人口 29,464人

予算編成方針

日本経済は緩やかな回復基調にあるが、米国の通商政策の影響や為替・株価の変動、さらに中東やウクライナ情勢に伴うエネルギー価格の不安定さなど、先行きには不透明感が残る。全国的に人口減少と少子高齢化が加速する中、本市は5年連続で転入超過になっている。地域経済を支える生産年齢人口の確保は持続可能なまちづくりの要である。本市が「選ばれる自治体」であり続けるためには、子育て世代に対する切れ目ない支援と本宮ならではの魅力の効果的な発信により、若い世代の定着と還流を確かなものにする必要がある。

一方で、公共施設の老朽化や社会保障費の増大により財政状況は厳しく、効率的な行政運営と市民サービス向上の両立が求められる。令和9年1月1日に「市誕生20周年」という大きな節目を迎える。幾多の困難を経て培われた地域の絆という財産を未来を拓く強い礎とし、令和8年度は次なる飛躍への基盤強化と子育て施策の一層の充実を図る。

各会計予算額

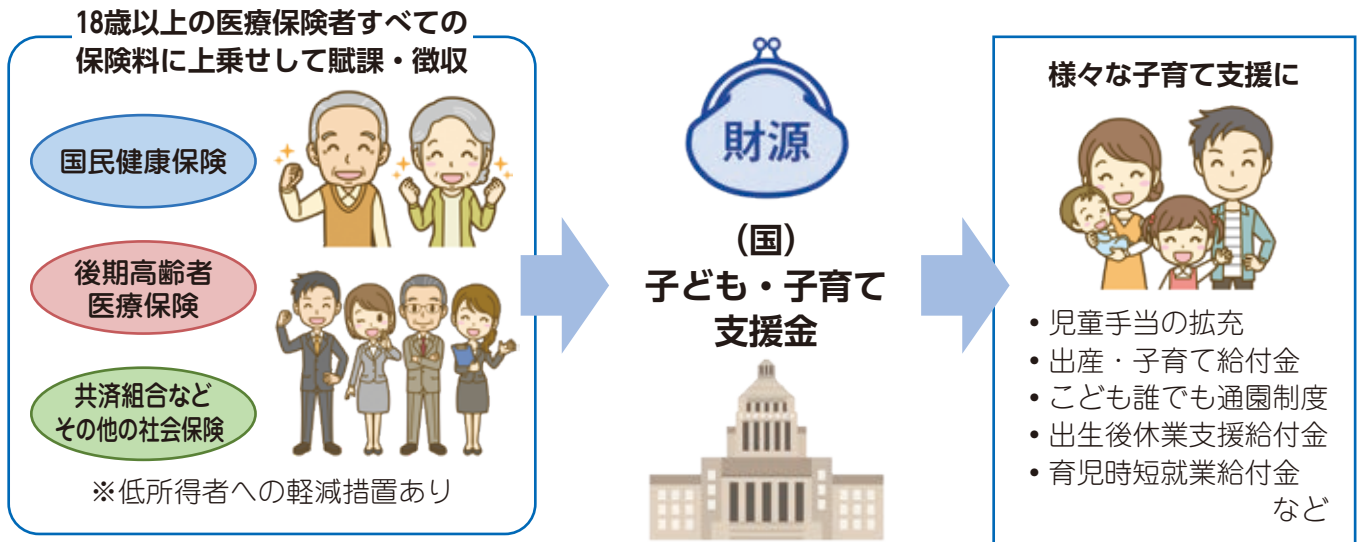
一般会計	185億	800万円
国民健康保険特別会計	27億	5,323万円
後期高齢者医療特別会計	4億	2,055万円
介護保険特別会計	27億	2,807万円
工業用地造成事業特別会計	1億	2,750万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億	1,327万円
水道事業会計	14億	6,360万円
公共下水道事業会計	13億	5,419万円
総計	274億	6,840万円

民生費	54億304万円	市民一人当たり 183,377円	子ども・高齢者福祉に
教育費	31億8,049万円	市民一人当たり 107,944円	学校教育や国際交流に
総務費	19億2,115万円	市民一人当たり 65,203円	職員給与や定住対策に
公債費	17億7,613万円	市民一人当たり 60,281円	借入金返済に
土木費	18億5,592万円	市民一人当たり 62,989円	道路整備・駅前整備に
衛生費	16億2,070万円	市民一人当たり 55,006円	健康増進や環境整備に
消防費	7億2,452万円	市民一人当たり 24,590円	消防・防災対策に
商工費	13億9,470万円	市民一人当たり 47,335円	商工業・観光振興、ふるさと納税に
農林水産業費	3億6,596万円	市民一人当たり 12,420円	農林業の振興に
議会費	1億8,638万円	市民一人当たり 6,325円	議員報酬・議会運営に
その他（労働費等）	7,901万円	市民一人当たり 2,681円	
全体	185億800万円	市民一人当たり 628,156円	

議案第15号 本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

令和8年度から「子ども・子育て支援金制度」開始

令和8年度から国の「子ども・子育て支援金制度」が始まることに合わせて、関係する条例の一部を改正する条例や予算案が提出されました。この制度は、社会全体で子どもや子育て世代を支えるため、すべての世代や企業が子ども・子育て支援納付金を国に拠出するもので、国が行う様々な子育て支援の財源になります。



議案第6号

本宮市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について

令和8年4月1日から始まる「こども誰でも通園制度」を実施するための基準が国から示されたため、運営基準を定める条例を制定しました。

こども誰でも通園制度

▲詳しくは議会だより第87号で

人 事

諮問第1号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

任期満了に伴う人権擁護委員の任命について、全会一致で同意しました。

人権擁護委員 茂木あけみ氏（白岩字桑内）

議案第4号

教育委員会委員の任命について

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について、全会一致で同意しました。

教育委員会委員 佐藤 卓也氏（高木字長瀬）

議案第12号

本宮市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

消防団員が災害や訓練などに出動した際の報酬を引き上げるため条例を改正しました。

報酬額（日額）

出動種別	改正前	改正後
災 害	4,000円 または8,000円 出動時間で変動	9,000円
訓練等	2,200円	3,000円

新規就農者育成支援事業 (1,306万円)



どんな予算？

地域の担い手となる認定農業者の育成や新規就農者の確保・育成を行い、農業経営改善と安定を図ります。

Q 新規就農者数は。認定農業者育成支援事業はなくなったのか。

新規就農者育成総合対策としていくつかの事業があるが、何名が就農したのか。また、認定農業者育成支援事業補助金はなくなったのか。

A 来年度は2名を確保したい。

認定農業者育成支援事業補助金は休止して効果を検証する。

令和6年度は2名、令和7年度は1名の新規就農があった。令和8年度は2名確保したい。

認定農業者育成支援事業補助金は令和8年度は休止して検証し、今後の補助のあり方について検討したい。

Q 親元就農支援とは

親元就農支援とはどのような内容なのか。

A 就農初期の生活費の補填として年間36万円を支援する

親元就農してから5年以内に経営移譲を受けることが確実な認定農業者に年間36万円を最低3年間支援する。就農初期の生活費の補填という考えである。

国民健康保険特別会計 (27億5,323万円)

どんな予算？

国民皆保険制度の柱である国民健康保険制度を運営します。

令和8年度からは子ども・子育て支援納付金が新たに徴収され、国の子育て施策の財源になります。



Q 子ども・子育て支援納付金、国保事業で何をするのか。いつまで続けるのか。

国に納付するという事だが国保事業としてどのような子育て支援をするのか。国保以外の子どもも支援を受けるのでは。市で負担する1,367万円、この額はいつまで納め続けるのか。

A 全医療保険者で負担して国に拠出、国の子育て支援の財源になる。現在は恒久制度である。

国民健康保険税の賦課徴収の仕組みを利用して国で財源を集めるもので、社会保険や共済組合などすべての健康保険で拠出することになっている。現段階では恒久的な制度として定められているため、今後も納付していく。

大山・松沢線整備事業 (7,190万円)

どんな予算？

大山・松沢線（安達太良ドリームライン）の道路改良により、通行車両と歩行者の安全確保を行います。



Q 大山・松沢線、令和8年度の事業内容は

決定したと聞いたが地元からその後、音沙汰がないと言われている。令和8年度はどのようなかたちで進むのか。あらためて地元の説明するのか。

A 物件補償と用地測量。設計が完了したら早急に地元説明会を実施したい。

詳細設計が今年度完了する。支障物件があるため令和8年度は物件補償と繰越で発注済みの用地測量を行う。地元説明会については令和7年度に設計が終わり次第、早急を実施したい。

予算審査質疑 PICK UP

予算審査特別委員会の質疑をピックアップしました。皆さんの興味がある質問はありましたか？

地域公共交通運行事業 (1億1,793万円)

どんな予算？

地域公共交通を運行し、市民の生活の足として日常的な交通手段を確保します。



Q まちたく、目的地間の移動には
自宅から病院、買い物の往復しかできない。病院をはしごしたいという要望があるが考えはあるのか。

A 協議会で慎重に議論を進めている
限られたタクシー台数のなか、目的地間を運行させてしまうと供給が追い付かない可能性がある。要望は把握しているが、協議会で慎重に議論を進めている。

Q コミュニティバスの自由乗降は
以前は自由乗降だったがバス停が遠い。今後どのように改善されるのか。

A 役割分担のなかで今後も議論を継続したい
利用者や地域の声でダイヤに影響がない、現行ルート上でバス停を設置したところもある。「チョイソコもとみや」や「まちたく」との役割分担の中で今後も議論を継続したい。

Q チョイソコ、区域を越えた移動は
例えば、本宮一中学区の方が白沢中学区への移動でチョイソコを利用できるようにする考えは。

A 民間サービスとの差別化が必要
台数や運行時間が限られていることに加えて民間サービスとの差別化を図っている。公共的なものとしてご理解いただきたい。

老人クラブ活動支援事業 (430万円)

どんな予算？

高齢者の社会参画を促進し、団体の育成を図ります。



Q 老人クラブ活動補助金、回数制限は
宿泊研修の単価が500円から5,000円に拡大されたが年2回実施した場合、都度全額対象か。

A 一泊5,000円として一度まで支援
以前は2泊まで対象だったが、令和8年度からは一泊5,000円で一度の交付となる。

公民館等長寿命化事業 (6億5,152万円)

どんな予算？

岩根公民館の耐震補強改修工事を発注します。



Q 他の公民館と比べ工事費が高いのでは
荒井や仁井田の改修工事費と比べて高いのでは。

A 床面積が倍あることなどが原因
荒井や仁井田地区公民館に対して床面積も倍あり、他地区にない軽運動場の床も全面張替え、空調設置に伴いキュービクルを設置するため高額になった。

富士内・上沢線外整備事業 (1億8,500万円)

どんな予算？

本宮インターチェンジ前の民間開発を促進するため、道路を整備します。



Q 買収していいはずの用地、なぜ賃借料が
道路法面であれば買収してもいいはず。なぜ借り上げているのか。面積は。

A 造成するとフラットになる法面部分。
買収すると造成者に払い下げできないため。1,457㎡を借地している。道路の法面部分だが今後、造成した際にはフラットになる。公共用地として取得した場合は払い下げできないため、事業者が用地を買うまでは借地としている。

橋本 善壽 委員（誠和会）

Q 進まない誘致、本宮インターチェンジ前の道路改良工事を凍結しては

市長は以前、本宮インター前に進出を希望している企業は諸事情により進出の話は進んでいないが決して話がなくなつたわけではないと答弁していた。そして、企業が進出しやすくするため先行投資として総工事費19億円強、工事期間を6年とする計画で令和8年度も予算が計上されている。

市民からは、道路の幅員が広くなり安全な運転ができて大変喜んでいて耳にしているが工事が進んでいないのも気にかかるとも聞く。誘致が決まってからでも間に合う話、市内にはまだまだ補修しなければいけない道路が多くある。工事を凍結するか、工事費を基金として積み立ておくことも考えの一つ。市民の皆さまに納得していただける判断が必要だと思うが市長の考えは。

A しっかりと地に足をつけてやらなければいけない

企業の誘致というのは非常に難しいと委員もご理解いただいていると思う。今、複数件の企業誘致の依頼がまとまりつつあると報告を受けているが、すべて造成が済まされているところ。近隣の自治体を見ても順調に進んでいるのは工業団地ができていくところである。それはもうオーダーメイドでやっている時期ではない、それでやるころの企業はもう来ないということである。

遅いというが、国の補助金のつき具合が悪いということとはご承知だと思ふ。基金として積み立てて国に要望をしなかつたとき、次に補助金がつく可能性は極めてゼロに近いという状況は、情報としてご理解いただいていると思う。おもしろおかしくおっしゃる方もいるが、市はしっかりと地に足をつけてやっていかなくてはいけないと思う。今ある話が決まればそれでいいこと。そうでないとすれば他の企業もあの場所に来てくれる可能性は非常に高くなってくる。片方を捨ててやるのではなく、両方を担保しながら仕事を進めている。自然災害や物価高騰の中で非常に厳しい状況。それらを踏まえながら市として今ここでやめるべきでないという強い意志を持っている。

Q 今後はオーダーメイド方式ではなく造成などを進めていくという考えなのか

市長は以前、企業誘致のときいろいろいな事情で借金を造ったことがあり同じ轍は踏まないということとオーダーメイド方式をとるという話だった。今後はやはり企業誘致をするためには造成等々するという考えのもと進めていくのか。

A 選択肢の一つとして、そのとき一番有効な選択肢を選んでいきたい

世の中どのように変わっていくかは分からない。その中で財政健全化は就任以来の公約である。明確に話をいたすということはないが、現状、オーダーメイド方式でオーダーは一切ないということは現実である。これはこうと決める必要はない。選択肢はあればあるほど有利だと思っている。今回、オーダーメイド方式をやめるという約束はしかねる。選択肢の一つ二つ、これをしっかりと持ったうえで、今のニーズを捉えていく。この考えは変わっていない。

周りから見れば非常に遅いと思われるが、一時から、国の補助金のつき具合は全国おしなべて非常に低い。それを自主財源を使ってでも進めていくという状況には、まだそこまでの余力はないかもしれない。国の補助金がいくら少ないと言えど、状況に応じて市の持ち出しが一番少ない、有効性、効果の高いものを選びながら進めていきたい。

一つを選ぶワンシユ어의問題にしていかないでいろいろ選択肢をそろえながらそのとき一番有効な選択肢を選んでいければと思っている。

渡辺 秀雄 委員 (創成・公明の会)

Q 空家対策は十分か

令和8年度の重点事業では移住定住人口の増加、推進に取り組みということの反面、年間50戸ほどの空家が発生していると聞いた。新年度予算で補助金等が増額、拡大されているのは大変いいことかと感じる。特にその中で建て替えを伴わない除却、今回新設補助対象になるということだが、以前からどうしようもないということでも市の方で道路際にネットをかける安全対策や、相続関係で所有者がなかなか見つからないといういろいろな問題がある。今の物価高において20万円の助成で取り壊しに気が進むのか懸念である。市長の考えをお聞かせいただきたい。

A 今までと毛色の違った新しいかたちでの支援に挑戦して、もようを見ていきたい。

新築住宅は増える。それに増してはいないが空家も徐々に増えてきている。割合でいうと本宮市の空家率は高いわけではないがそれでも年間約50戸出てくる。今回、30戸という目標を掲げた。これが出てくると平行線くらいになる可能性はある。一番のネックは持ち主が市にいないということ。まず所有者とのコンタクトを取りながらパイプを結んでいく。今までも何件かはあったが、目標値には到底至っていないということで、30戸売買成立をさせたいという目標を設けた。それに挑戦しながら、徐々に制度を変えやっていかなければいけないと思っている。効果がなければ次の手法を考えていくということをやっつけていかなければいけない。

新築住宅よりは安価に、ちょっときれいな家に住むことができるといったキャッチフレーズやいろいろな仕組みを考えながらバランスをとれるかたち、これを仲介してくれる業者さんはできた。うまくやっつけていく仕組みを市として作っていくべきということで、来年度、本格的に毛色の違ったというか、新しいかたちでの空家支援を始めて、ちょっともようを見させていきたいと思っている。

Q 行政区支援の拡充、市長の考えは

新型コロナウィルス感染症の時期以降、地域コミュニティの活動というのが、いろいろなかたちで疎遠になってしまってきている。もう一回、地域おこしのなかで手を加えていかないとますます大変になると思う。特に、同じ地域内に新しく移住する人が町内会組織に入らないとかいろいろな話で行政区長が大変だという話も聞く。支援の拡充について考えをお聞かせいただきたい。

A 今後、町内会のあり方も含めて検討する時期にきている

これだけ物価の上昇があるなかで支援額がいつまで同じでいいのかと、支援金の幅も各自治会に応じたかたちの中でうまくできないかと話もある。今までの市と町内会の関係ややりとりで違和感があることもある。

各区長と意見交換しながら次につなげていきたいと思っている。間違いなく物価高騰している。支援額は同じ。ということ、よく続けていただけで、協力していただけているという思いもある。今後、町内会のあり方も含めて検討する時期にきているだろうと思う。

特に本宮市のような、住んでくたさる方が増えている地域というのはどこも町内会の問題が出てきている。市では、義務ではないという言葉は一切使っていない。ぜひ町内会に入ってくださいと話をしているが、なかなか100%、そうですとねと町内会に入る方ばかりではない。そして、新しい人が入れば入るほど古くから住んでいる方との考え方の乖離とか、いろいろな問題が起きてくる。どのようなかたちの中で解決していくことができるか、これは市ももう一歩踏み込んでいかなければいけない部分。各区長さんと話をしながら問題抽出をしていければと思う。

国分 秀好 委員（新風会）

Q 白沢地区の認定保育園、令和8年度の計画は

園児の減少により認定こども園を設置する方向性が決まったということだが、令和8年度として何をしていくのか、そういった考えがあるのかお聞きしたい。

A 当初の令和11年という計画は前倒しの方向でなるべく早く場所を選定し地域含め話し合いたい

当初、令和11年というのは前倒しする方向でいければと思っています。できるだけ早めに場所を決めて議員や地域の方々と話し合い、学区を設けない、本宮から入りたい方もどうぞ来てくださいたいというような認定こども園にしていきたい。市ができること、予算化してスピーディにやっていきたい。

Q こどもまんなかへそのまちプロジェクトへの市長の考えは

令和8年度予算では、子育て教育関連の事業が多岐にわたり重点事業として配分されている。子育て世代の支援を充実させ、安心して暮らせる環境を整備したシテイプロモーションを強化しながら移住定住と生産年齢人口の増加を図るための対策と考えるのか、市長にお聞きしたい。

A 全年代で平均したサービスの中で子育ての部分は他より良いというところを発信力していく

住みよきランキング県内1位という評価。分析するとこびぬけて自立って良いところは何も無い。悪いところがないのが本宮の住みよさというのは発信しにくい。本宮市、子どもからお年寄りまでおしなべてサービスは平均しているが、子どもの部分は他より良いぞというかたちを作っている。これが発信力としてでないかと。良いサービスを使っただけではなく、市は協力するから、どうかサービスを受ける方がそのお金を子どものために使ってくださいという発信ができないかと思っている。そうすることによって本宮の子育てが本気なんだと、それを内外に発信していくべきだと思う。

Q 地域おこし協力隊の採用

白沢地域の魅力発信をどうやっていく

令和8年度は地域おこし協力隊員を採用し、白沢地域の魅力を発信し、白沢地区への移住を促進していくという考えがあったかと思う。そのなかで、ふくしまステイネーションキャンペーン（ふくまD）や市政20周年の節目という機会にどのようなことをやっていくのかお聞きしたい。

A 和暮和暮など白沢に行った人とどう関係を結んでいくかがこれからの仕事

和暮和暮を利用した方で4世帯、本宮市に移住してくださったが残念ながら白沢には移住してくれない。いろいろな要因があると思うが、3年後、最低2世帯の白沢地区への移住を目指すということを目標に決めた。

白沢がいいところだと募集すると来てくれるが、いいところでしたと終わっている。これでは移住してくるわけがない。行った人どう関係を結んでいくかというのがこれからの仕事。それで目標を決めた。

それとは別に交流人口について、DCで岩角山に行くと、プリンス・ウイリアムズ・パークに行くと、素晴らしかったから白沢に住もうとは思わない。交流人口とは分けて考えた方がいいと思っている。本宮の観光資源、点の観光スポットから線にはなるが面にはなっていない。近隣自治体と協力しあいながら広域圏のなかでやっていく必要があり、そのなかで本宮の役割を果たしていければと考えている。まだまだ全国的に認知度は低い光るものは持っていると思う。いい意味でもうちよつと発信力があって認知度の高い市になればと思う。

総務文教常任委員会には、本宮市特定乳児等通園支援制度支援事業の運営に関する基準を定める条例制定のほか議案9件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

総務文教 常任委員会

現地調査



すまいる・るーむと本宮市しらさわグリーンパークの視察を実施しました。

本宮市特定乳児等通園支援制度支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について

説明 令和8年4月よりことも誰でも通園制度を実施することに伴い、利用定員や運営に関する基準について定めるもの。

問 ことも誰でも通園制度の実施目的は。

答 就学前の児童が集団生活に慣れることに加え、保護者の不安解消を主な目的としている。

本宮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

説明 職員の育児における部分休業に年間10日以内の取得パターンを加え、より柔軟な活用を可能とするもの。

問 本改正の適用範囲は。

答 一般職員に限らず、基準を満たす会計年度任用職員も対象となる。

生活福祉 常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例制定のほか議案2件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

説明 市災害出動の際の出動報酬を一律9,000円、式典や点検など平時の活動に対する報酬を月額3,000円に引き上げる。併せて規則を改正し、在任途中で退任した幹部の後任者は、前任者の残任期間を問わず、4年間とする。また、団員の柔軟な確保を目的に、団全体の定員数の中で対応できるよう各分団の定員の定めをなくし、各分団の目安となる員数は消防団団則に定める。

問 県内他市の団員報酬と比較するとどのような状況か。

答 報酬の算出方法は自治体ごとに異なるが、災害時の出動報酬は最も高い額となる。

公の施設に係る指定管理者の指定について

説明 本宮市集会所条例及び本宮市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例に基づき、令和8年4月1日から令和13年3月31日までの期間による指定管理者の更新を行う。

問 指定管理者となる行政区長が交代となった際はどうか。

答 各行政区との指定管理協定となり、行政区長が交代となった際は、新たな方に管理責任が引き継がれる。



産業建設 常任委員会

産業建設常任委員会には、本宮市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定についてのほか議案3件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

陳情第2号 『最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書』提出を求める陳情について審査を行い、採択すべきものと決定しました。

陳情審査

問 冷暖房使用料の市内・市外の料金差は。

答 最大稼働時の電気使用料等を考慮し、本市の現在の照明使用料で設定されている市内利用者との料金と市外利用者における最大使用料にて差をつけて設定した。

説明 総合体育館空調設置に伴う冷暖房使用料を新たに設定する。

本宮市都市公園条例の一部を改正する条例制定について



▲五百川橋架替工事箇所

現地調査
五百川橋架替工事箇所及び東町排水ポンプ場電気設備更新工事箇所の現地調査を行いました。

問 改正に伴う収入の見込みは。

答 令和8年度は100万円以上の増収となる見込みである。

説明 道路占用料の一部を改正する。

本宮市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について

討 論

議案第10号

本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

反 対

渡辺 忠夫 議員

今、生活事情が大変なもとで、市民の感情も複雑だ。そのような市民感情からして現状のままで良いと判断する。よって引き上げる必要はない。

賛 成

国分 秀好 議員

本宮市特別職報酬等審議会による答申に基づき議員報酬を引き上げるものである。外部有識者により構成された審議会で社会情勢、近隣他市の水準、過去の改定の内容、市政に対する責任の度合いなど総合的な判断の結果であり、尊重すべきものである。

議案第11号

本宮市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について

反 対

渡辺 忠夫 議員

類似自治体と比較するも額の差が大きく市民からも納得いかないとの意見が寄せられている。よって賛成できない。

賛 成

国分 秀好 議員

本宮市特別職報酬等審議会による答申に基づき特別職の報酬を引き上げるものである。この答申は外部有識者により構成された審議会の総合的な判断の結果であり尊重すべきである。

討論

議案第29号 令和8年度本宮市一般会計予算

反対

渡辺 忠夫 議員

新年度予算では住民の要望が反映され盛り込まれているが是とするものは是としていくつか意見を述べる。一つは保育士の待遇改善。若干正職員化されたようだがまだまだである。さらなる正職員化、待遇改善を図るべきである。二つは農業振興対策。要望があったにも関わらず認定農業者育成支援事業補助金がなくなり、耕作放棄地の回復や利用の具体策がない。農産物などのモノづくりがあって交流が結びついてこそ移住定住が進むものである。三つはインターチェンジ前の道路改良事業。事業者が決まってからでもよく、そこよりも改善の要望はある。四つは国際交流事業。英国に特化し、特別な人だけ派遣することはおかしい。等しく、公平にという義務教育が求められている。

賛成

渡辺 富幸 議員

極めて意欲的かつ堅実な予算編成であると評価する。特に、賃金上昇等による市税の収入増加を背景に物価高騰の影響を受ける市民生活を支えつつ、次世代への投資と安全安心な基盤整備のバランスが図られている。特に評価すべきはこどもまんなかへそのまちプロジェクトによる子育て世代のライフステージに応じた切れ目ない支援。様々な無償化施策はこどもまんなかへそのまちを具現化するものであり、若い世代の本市への地域の活力を維持する最適解である。福島県のへそという利便性と抜群の子育て環境を戦略的に発信することで、移住定住の促進、さらには本市を支える関係人口の創出につながるものと期待する。

本予算案は子どもたちの未来を照らし、市民の日常を守り、そして本宮市の魅力を広く世界に発信する希望に満ちた予算である。

議案第30号 令和8年度本宮市国民健康保険特別会計予算

反対

渡辺 忠夫 議員

子育て支援の財源の一部とするため医療保険料に上乗せして徴収するもので、子どもの均等割りはゼロになるが、18歳を過ぎると負担することになる不十分極まりない制度である。子育て支援は重要だが、そのための財源に医療サービスを削減したり医療保険料に上乗せ徴収したりするような愚策を行うべきではない。他の医療保険よりも高いわけなのでさらに負担が大変になる。市として上乗せをやめるべきと政府に要求することを求める。

賛成

渡辺 富幸 議員

国を挙げて少子化対策に取り組むための必要財源とされ、自治体の裁量でまぬかれることができないものである。制度に対する十分な情報提供や理解が進んでいない現状、国に対して努力するよう要望していくことは必要と思う。国の人口動態速報値では、2025年の出生数は日本人で67万1,000人となるそうで、今こそ、子どもや子育て世代を社会全体で応援し、その子どもたちが大人になり社会を支える担い手を育成する子育て支援は、多くの国民のメリットにつながる取り組みである。

議案第31号 令和8年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算

反対

渡辺 忠夫 議員

議案第30号と同じ理由である。政府がやるのだから子育て支援の財源は政府の責任でやるべきで、地方の医療保険料に上乗せするべきではない。特に、後期高齢者医療制度から取るなどとてもない発想である。

賛成

渡辺 富幸 議員

国を挙げて少子化対策に取り組むための必要財源とされ、自治体の裁量でまぬかれることができないものである。子どもや子育て世代を社会全体で応援し、その子どもたちが大人になり社会を支える担い手を育成する子育て支援は、多くの国民のメリットにつながる取り組みである。

令和8年3月定例会 議決結果一覧

市長提出案件 諮問1件 議案33件

番号	議案名	付託委員会	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	省略	同意
議案第4号	教育委員会委員の任命について	省略	同意
議案第5号	専決処分承認を求めることについて (専決第1号 令和7年度本宮市一般会計補正予算(第8号))	省略	承認
議案第6号	本宮市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第7号	本宮市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第8号	本宮市放課後児童保育条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第9号	本宮市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第10号	本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第11号	本宮市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第12号	本宮市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決確定
議案第13号	本宮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第14号	本宮市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第15号	本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	生活福祉	原案可決確定
議案第16号	本宮市青少年問題協議会条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第17号	本宮市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	原案可決確定
議案第18号	本宮市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	原案可決確定
議案第19号	本宮市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	原案可決確定
議案第20号	公の施設に係る指定管理者の指定について	生活福祉	原案可決確定
議案第21号	令和7年度本宮市一般会計補正予算(第9号)	省略	原案可決確定
議案第22号	令和7年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	省略	原案可決確定
議案第23号	令和7年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	省略	原案可決確定
議案第24号	令和7年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第4号)	省略	原案可決確定
議案第25号	令和7年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算(第2号)	省略	原案可決確定
議案第26号	令和7年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計補正予算(第1号)	省略	原案可決確定
議案第27号	令和7年度本宮市水道事業会計補正予算(第7号)	省略	原案可決確定
議案第28号	令和7年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第5号)	省略	原案可決確定
議案第29号	令和8年度本宮市一般会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第30号	令和8年度本宮市国民健康保険特別会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第31号	令和8年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第32号	令和8年度本宮市介護保険特別会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第33号	令和8年度本宮市工業用地造成事業特別会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第34号	令和8年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計予算	予算審査特別	原案可決確定

令和8年3月定例会 議決結果一覧

市長提出案件（前ページ続き）

番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第35号	令和8年度本宮市水道事業会計予算	予算審査特別	原案可決確定
議案第36号	令和8年度本宮市公共下水道事業会計予算	予算審査特別	原案可決確定

陳情3件

番号	議案名	付託委員会	議決結果
陳情第1号	「院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など公定価格の引き上げを求める意見書」提出を求める陳情について	生活福祉	採 択
陳情第2号	「最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書」提出を求める陳情について	産業建設	採 択
陳情第3号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	省 略	採 択

議員提出案件3件

番号	議案名	議決結果
発議第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決確定
発議第2号	院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など公定価格の引き上げを求める意見書	原案可決確定
発議第3号	最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書	原案可決確定
—	閉会中継続調査（議会運営委員会、各常任委員会）	決 定

3月定例会賛否一覧

※ ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（斎藤雅彦）は採決には加わらない
 ※ 会派名の略称は次のとおり 共…日本共産党 無…会派に所属しない議員

会派名	誠和会							創成・公明の会							新風会			共	無
	議員名	石橋今朝夫	橋本善壽	菊田広嗣	磯松俊彦	玉川実	渡辺富幸	後藤友誉	渡辺秀雄	川名順子	三瓶裕司	菅野健治	三瓶幹夫	馬場亨守	根本利信	斎藤雅彦	田中美代子	国分秀好	渡辺忠夫
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○

上記以外の議案等は全会一致で可決されています。

市民との意見交換会

令和8年1月17日(土)

市内3か所で「本宮市議会市民との意見交換会」が開催され、各会場で市政について市民の皆さんと市議会議員の間で活発に意見が交わされました。

市民の皆さんからいただいた意見や要望は、議会で分類、精査して市に共有しました。まとめたものを市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。お越しいただいた皆さまに感謝申し上げます。



市議会ホームページはこちら



▲仁井田地区公民館



▲中央公民館



▲白沢公民館

視察報告

議会運営委員会 令和8年1月22日(木)

【視察先】 栃木県さくら市議会
【テーマ】 オンライン委員会について
議会からの提言・提案等について

さくら市議会では、オンラインによる委員会への出席を可能としており、実際に、出産・育児と議員活動を両立できた事例があります。オンライン出席は、多様な人材の議会への参画を促すとともに、災害時においては、議会機能の維持にも役立つなどのメリットがあります。

また、議会からの提言・提案等は、「議会報告会での市民からの意見」と「常任委員会行政視察の調査内容」を中心に、現状の分析や、さくら市に合う形の検討などを行い、市への提言や提案につなげています。本市議会においても、市民の声を政策に活かすための取り組みを、さらに充実させることが大切であると考えます。

視察報告

広報広聴委員会 令和8年1月26日(月)

【視察先】 茨城県那珂市議会
【テーマ】 SNSを利用した広報活動について
広報誌の編集について
議員と語ろう会の実施状況について

那珂市議会では、令和6年の議員選挙を契機に議会の広報・広聴活動の改革が進んでいます。

広報活動では、改選の翌月には公式 SNS 開設の検討を始め、SNS を活用した広報を開始しました。また、議会広報誌も新人議員の視点から市民の手に取ってもらえる、分かりやすい広報誌を心がけ改革が進んでいます。

広聴活動では、常任委員会ごとにテーマを決め、関係団体と意見交換を実施しています。

本宮市議会でも市民の皆さんに議会をもっと知っていただき、その声を市に届けることは重要なことであり、大変参考になる視察でした。

発行責任者	議長	齋藤 雅彦
広報広聴委員長	委員長	磯松 俊彦
副委員長	副委員長	田中美代子
委員	委員	後藤 友誉
委員	委員	渡辺 富幸
委員	委員	国分 秀好
委員	委員	玉川 利信
委員	委員	根本 博
委員	委員	作田 博

3月定例会では、市民の皆さまの安全・安心な暮らしや地域課題の解決に向け活発な議論を重ねてまいりました。先日の侍ジャパンの活躍は、多くの人に歓喜と感動、そしてチームで目標に挑む大切さを教えてくれました。

私たち議会もその姿勢に学び、市民の声を大切にしながら議会の見える化や広聴活動の充実を進め、開かれた議会づくりと議会改革に取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

(根本)

編集後記

6月議会定例会は6月8日に開会予定 請願・陳情は5月27日(16時まで)締切

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。

市 政 を 問 う

一 般 質 問

Question

一般質問とは

議員が、市政全般のことについて、市に対して考えを聞くのが一般質問です。皆さんの生活にかかわる内容がきっとあります。

質問議員	質問事項	ページ
磯松 俊彦 (誠和会)	・行政区交付金の交付実態は ・白鳥飛来地の観察について	16
玉川 実 (誠和会)	・岩根地区の熊対策の取り組みは ・教職員のDXによる負担軽減策は	16
後藤 友誉 (誠和会)	・小学校教科担任制を展開しては ・第2児童館廃止後の整備計画は	17
渡辺 富幸 (誠和会)	・民生委員の報奨金アップ検討を ・水道管耐震化は予定どおり進むのか	17
作田 博 (無党派)	・合併20周年記念事業は ・施設を活用した事業展開は	18
根本 利信 (創成・公明の会)	・防犯灯、市が一括管理すべきでは ・岩根幼稚園前通園経路の安全対策は	18
国分 秀好 (新風会)	・将来を見据えた教育ビジョンは ・白沢地区の地域おこし協力隊は	19
菅野 健治 (創成・公明の会)	・いじめの現状は ・一斗内・赤坂線長屋工区の整備は	19
馬場 亨守 (創成・公明の会)	・公共施設の管理・運営は ・市道の整備状況は	20
田中美代子 (新風会)	・防犯カメラの設置と効果について ・農業・農村の将来は	20
渡辺 忠夫 (日本共産党)	・中学校の制服新調に助成を ・中山間地域の振興を図るべき	21
川名 順子 (創成・公明の会)	・制服購入費助成制度の創設は ・ナビレンスの採用は	21



QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。



▲アーバンベアが確認される岩根地区矢沢エリア



問 行政区交付金の交付実態は 答 環境美化に係る割合が多い

磯松 俊彦
(誠和会)



問 行政区交付金の地区別の届出状況、どのような事業を実施しているのか。各行政区において実施している地域活性化、環境美化、健康づくりの、分類別の分析があるのか。特定の事業によらず、増額についての見解は。

答 地域活性化、環境美化、健康づくりの3本柱。各行政区で取り組みの実態は異なるが、全体を通じ環境美化事業に係る割合が多い。現時点で増額の考えはない。総務政策部で特色ある市民の取り組みに補助する制度はあるので活用いただければ。

問 白鳥飛来地の観察について
答 整備されたところから楽しんで

問 本市の中央部を流れる阿武隈川は、高木地区付近が白鳥の飛来地として知られており、白鳥観察地にもなっていた。現在の観察活動についての留意点等について伺う。今後自然豊かな環境を生かす取り組みは。

答 白鳥飛来地は景観を美しくみられる場所としては魅力があると感じる。整備されているところから白鳥の魅力について楽しんでいただければ。今後新たなインフラ整備が行われる際はグリーンインフラの考え方に則り協議、検討など考えたい。

その他の質問

- ・市関連団体の方の活動手当適正化への調査は
- ・都市計画提案制度について



▲阿武隈川の河畔



問 岩根地区の熊対策の取り組みは 答 箱わな他による速やかな対応策で

玉川 実
(誠和会)



問 国のクマ被害対策パッケージの補正予算が採択され、本市にも交付された。人里に出没する熊はドングリの不作ではなく、人里の果実が熊の出没の要因であるが、岩根地区に多く発生しているアーバンベア対策の取り組みは。

答 令和7年度市全体のツキノワグマ目的情報は21件で捕獲頭数は23頭。内、岩根地区は目撃情報は12件で捕獲頭数は23頭である。補助金により、強化する内容は熊を人里に誘引しないための出没地域柿など果実伐採を特に強化する。

問 教職員のDXによる負担軽減策は
答 校務DXで小中高連携までを検討

問 校務DXとは教職員が担う校務処理としてデジタル技術を効率化、教育の質や働き方改革を根本から改革することである。時短が求められている。本市の校務DXがどのように進められ、現在取り組みでの負担軽減は。

答 現在、校務支援システムは導入されている。その中で出席簿、健康管理、指導要録が一元管理され、先生方の事務負担軽減に努めている。また、市内各学校は同一のシステムによる学校間連携の対応による負担軽減を図っている。

その他の質問

- ・債券運用による資金管理の変更は可能か
- ・ふるさと納税による更なる財源確保の方策は

問 民生委員の今後の担
い手確保策として、市独
自の報酬金をアップさせ
る処遇改善の方策が求め
られる。これは民生委員
の方々の精神的な負担軽
減策にもなる。令和9年
度以降に向けて報酬金
アップの検討をすべきと
考えるが市の考えは。



問 民生委員の報酬金アップ検討を
答 今後検討する余地は出てくる

渡辺 富幸
(誠和会)



答 現時点で民生委員協
議会から増額の要望は出
ていないが、訪問活動に
おけるガソリン代や活動
環境の改善等、必要にな
ると思われる。なり手不
足の解消を考えると、こ
れにもつながるかと思
う。今後、検討する余地
は出てくると思ってい
る。

問 建設資材の高騰や人
件費の高騰による工事費
の高騰が懸念される。ま
た、建設関係者の人手不
足もますます深刻化して
くる。そのことにより予
定どおり計画が進まない
のではないか。耐震化工
事を進めるうえで大きな
課題なのではないか。

問 水道管耐震化は予定どおり進むのか
答 計画どおり進めていきたい

答 工法等の見直しによ
るコスト縮減、施工時期
や発注時期の平準化、会
計上の耐用年数よりも長
い実耐用年数による管理
をすることにより全体の
更新費を削減し、更新需
要のピークを平準化する
等、計画に柔軟性を持た
せて取り組みを進める。

その他の質問

- 民生委員についての情報発信を増やすべきでは
- 耐震化工事により水道料金に影響は出てくるか



あなたのまちの民生委員・児童委員
～地域の身近な相談相手～

全国民生委員児童委員連合会

▲民生委員は住民の最も身近な相談相手であり、行政とのパイプ役



▲小学校教科担任制による児童・先生の効果は大きい。展開を望む

問 小学校教科担任制に
ついての捉え方は。人材
確保が一番の課題である
が視察した守谷市の事例
もある。専門教科担任制
による学力向上、生きる
力、授業の質向上、先生
方の心のゆとり働き方の
時間を考慮して本市とし
て展開してはどうか。



問 小学校教科担任制を展開しては
答 効果はあると認識している

後藤 友誉
(誠和会)



答 校長会議等におい
て、高学年の算数科につ
いては教科担任制を推奨
し、できる限りやりま
しょうという形が実情。
高い指導力・技術力をも
つ適任の方を探るのが厳
しい状態。担任以上の成
果出せないという意味がな
く、適任の方がいない。

問 第2児童館廃止後の整備計画は
答 防災機能を持たせた地域の公園に
①解体工事時期、公
園の遊具選択等、今後の
計画で町内会や住民への
周知はどうなっているか
②公園整備後の草刈り等
は町内会や公園の維持管
理に委託となるのか③例
えば夜間の避難、雨風を
想定して停電でもつくら
イト、東屋の整備は。

答 ①検討やスケジュー
ル調整はこれからだが、
町内会との意見交換会は
考えていない。整備にあ
たる情報は地域に示して
いく②管理方法など具体
的な検討は、これからの
作業③災害に寄与する整
備は国の交付金活用を視
野に入れ整備を検討。

その他の質問

- 生活道路における視認性確保と安全対策は
- 児童・生徒目線での参加型の安全点検にしては



▲安全確保は最優先課題
事故を未然に防ぐための安全対策を

問 行政区管理防犯灯は、加入世帯の高齢化と減少、行政区加入率低下等公共的役割の維持が困難。他自治体では、防犯灯を一括管理方式へ移行。ゼロカーボン推進、LED化の加速及び管理費の平準化、行政区負担軽減へ取り組んでいる。市の見解は。

答 行政区管理の防犯灯等について少子高齢化や地域の実情も変化し維持管理が大変難しくなっている。行政区長や防犯協会などの関係者からの話を聞き新年度実態調査をし全体把握を行い本市に合った今後の支援のあり方整理する。

問 岩根幼稚園の駐車場から園舎まで明解な歩道整備されていない。子ども達の安全安心な登園環境確保は、行政の責務。歩道整備は接触事故のリスク軽減、保護者が安心して送迎できる環境の確保、幼稚園全体の安全体制向上効果期待。市の認識は。

答 園児の安全な通園経路を確保するため外側線を明確に表示、カラー舗装やポストコーン等設置し歩車道分離を図る対策が必要。通園経路確保のためし字溝の敷設替えの整備必要と認識。市全体の整備要望の中で優先順位をつけて検討していく。



問 防犯灯、市が一括管理すべきでは
答 実態調査をし支援のあり方整理

根本 利信
(創成・公明の会)



問 合併20周年記念事業は
答 20周年を市全体で盛り上げる

作田 博
(無所属)



問 来年は旧本宮町と旧白沢村が合併して20周年目を迎える。合併20周年は節目であり、全市を挙げて祝おうではないか。文化・スポーツ等の企画を、一般市民から公募し全市民参加を目指してはどうか。

答 20周年を市全体で盛り上げるためには、市民参加は重要である。市民、団体が企画・実施する事業に対して、20周年記念という冠の事業を募集してゆく。市としては、多くの一般市民が参加できるよう。広報PR等による支援を行う。

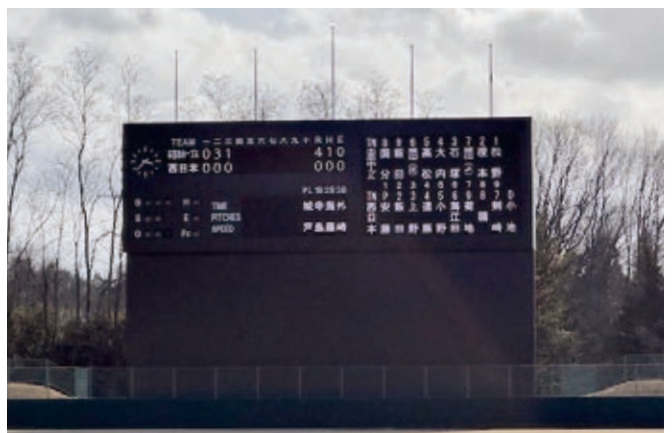
問 文化・スポーツ等の施設を存分に活用した事業の展開をされてはどうか。本市の施設は充実している。総合体育館、サンライズもとみや、しらすわグリーンパーク野球場、グラウンドゴルフ等々、市内外にPRする絶好の機会である。

答 しらすわグリーンパーク野球場の改修が完了した。元プロ野球選手によるドリウムベースボールを開催する。青少年の野球教室、ドリウムチームと、市の選抜チームとの親善試合を企画している。

問 施設を活用した事業展開は
答 ドリウムベースボールを開催する

その他の質問

- ・歴史民俗資料館の建物は存続か廃止か
- ・広域行政圏の選択については南か北か



▲しらすわグリーンパーク野球場の新しい電光掲示板

その他の質問

- ・パークゴルフ場の芝生管理及び管理委託の内容は
- ・グラウンドゴルフ場のトイレ設置・管理委託内容は

問 いじめとは、当該児童・生徒に対して心理的・物理的な影響を与える行為、当該行為の対象となった児童・生徒が心身の苦痛を感じているものをいうことだが、令和7年度の現状、小・中学校は、昨年と比べて状況

答 令和7年度は、小学校34件、中学校9件という状況。うち、SNSによるいじめは、小学校3件、中学校2件。いじめの内容は、悪口陰口冷やかしと仲間外れが上位を占める。解決状況は、全校43件中26件が解決という状況。

問 当初から地元住民の方から要望陳情を受けて進められている工事であり約20年かかっている。当初田島地内は通学路でありY字路交差点で、工事が進められた。その後、起点の一斗内を進めているが、令和10年度で休止する経緯は。

答 令和10年までそこまではやる。合併協議会の中で約束事項であるため、財政の問題はある。地元の皆さま方も一斗内・赤坂線については強い思いがあり、そこだけ（未整備700m）残すことはならないと考えている。

その他の質問

- 教育長へ本宮市教育行政について
- 本宮市しらさわ地域魅力発信事業について



▲一日も早い早期完了を（一斗内・赤坂線 長屋工区）



問 いじめの現状は
答 小学校が34件、中学校9件

菅野 健治
(創成・公明の会)



問 一斗内・赤坂線長屋工区の整備は
答 やらないということはない



▲今後の学校課題にどのように取り組むのか
(画像は議員本人が生成 AI により加工)

問 本宮市の学校、家庭、地域が一体となって子どもたちを育む体制をどのように構築していくのか、また不登校や特別支援教育への対応、ICTの活用の推進、教職員の働き方改革など、現場が抱える課題についてどう向き合っていくのか。

答 学校運営協議会における熟議の中で、学校の課題等を積極的に取り上げていたとき、学校の現状を理解したうえで、地域と一体になってよりよい学校づくりに努めていくことを、教育委員会としても校長先生方にも働きかけをしていく。

問 白沢地区の地域づくりは、人口減少や高齢化が進む中、これまで以上に地域の力を活かし、地域の魅力を磨き上げていくことが求められている。そこで令和7年度地域おこし協力隊の募集が始まりましたが現状はどのようになっているのか。

答 白沢地域魅力発信事業として昨年5月から市のホームページや専用のポータルサイトによりに、地域おこし協力隊の募集を開始した。その後、10月に応募があり、書類選考、面接を経て、採用者の決定に至っている。

その他の質問

- 学校施設環境整備は
- 観光・交流人口及び関係人口の拡大策は



問 将来を見据えた教育ビジョンは
答 学校運営協議会と協議していく

国分 秀好
(新風会)



問 白沢地区の地域おこし協力隊は
答 地域おこし協力隊4月より採用



▲整備された農地、田んぼは地域の誇り

問 ①カメラの設置により防犯対策、事件を未然に防ぐ効果はあるのか。②白沢地区の信号機に設置は可能か。③市民の安心と安全のため、防犯カメラの自宅設置の支援等、防犯対策強化を進めべきと考えるが。



問 防犯カメラの設置と効果について
答 令和8年度7か所、計21基設置

答 ①防犯カメラ設置による抑止効果はあると認識している。②光の確保等の問題により適さないとされている。③各地区・防犯協会等と意見交換・先進事例の調査、行政としてのどのような対応が必要か議論し進めていきたい。

問 地域計画により農地利用の方向性が示されたが、地域で後継者がいない、土地が荒れ困ったと意見が多いなか、政策と地域の現状が噛み合っていないと感じる。地域で相談できる農業アドバイザーがいたら今後の維持・発展につながるのでは。

問 農業・農村の将来は
答 関係機関と連携し相談に対応

答 地域計画は、農業者自身が地域の現状と課題を把握したうえで策定。地域に密着していない、農家を継続したいが不安があると、現在の制度を利用し地域にあった農業、営んでいる方々の接し方、対応できる形を作りしつかりと取り組む。

その他の質問

・市道一斗内・赤坂線改良工事の継続は

田中美代子
(新風会)



問 ①万世分庁舎について、今後の建て替えなどの計画は。②中央公民館・白沢公民館の利用者・団体数は。中央公民館は平成21年度は78,000人、白沢公民館は18,000人の利用者があった。中央公民館の職員配置は。

答 ①築47年。まだ壊すも改修するも検討していない。②中央公民館利用者数24,000人、白沢公民館14,000人の利用があった。中央公民館は、現在職員は窓口受付する職員1名と施設管理1名が常駐している。

問 ①塩田5号線の整備状況は。県道五百川大橋停車場線平井地区から瀬樋内・大森線に接続する市道。待避所、側溝も整備されていない。②北山神・小原田線の整備状況は。地域の生活道路で側溝を整備する考えはあるのか。

答 ①周辺に住宅がなく朝夕の時間帯において利用されているのは承知している。北側の市道南山神・平井前線を利用してほしいと考えている。②側溝整備をしていく必要があることから状況を調査し、待機所を設置できないか検討している。

その他の質問

・本宮市特別職報酬等審議会について



問 公共施設の管理・運営は
答 地域交流の拠点として運営する

馬場 亨守
(創成・公明の会)



▲塩田5号線の整備状況は

問 物価高騰が続く中、中学校入学時に必要となる制服購入費は子育て世代にとつて大きな負担である。制服は子どもたちの新スタートの象徴である。家庭の経済状況によってその一歩が左右されないよう、未来への投資として検討すべき。



問 制服購入費助成制度の創設は
答 現時点での創設は考えていない

答 負担となつていることは認識しているが、令和8年度から「こどもまんなかへそのまちプロジェクト」の中で保育料・給食費無償化を実施していく。無償化した部分で制服の購入・入学準備・修学旅行の積立などに活用していただきたい。

問 ナビレンスの採用は先進地の調査研究していく
答 ①ナビレンスは、高密度の人工マーカを遠距離から読み取り、40か国語以上の音声で読み上げる画期的なシステムである。②庁舎は市民サービスの拠点。誰もが安心して利用できるよう、主要動線に計画的に点字ブロックを整備すべき。

問 ①視覚障がい者の方々にとつて情報バリアフリーツールであることは認識している。先進自治体の事例等のメリット・デメリットを含めて調査研究していきたい。②窓口カウンター改修を計画している。専門家の意見を聞きながら検討する。

その他の質問

- RS ウイルス感染症について



▲子育て世代の負担軽減を



▲荒れた農地、対策が必要



問 中学校の制服新調に助成を
答 負担軽減は総合的に軽減

問 中学校入学時に準備する制服購入についての負担が大変という声が寄せられた。モデルチェンジで高価になるといいうが実情は。物価高の折それぞれが家庭では大変。物価高対策として行政が支援する考えがあるか問う。

答 白沢中学校については男女平均して6万円くらい。物価高の考え方は様々あるが市では令和8年度「こどもまんなかへそのまちプロジェクト」を発表。保育料無償化、給食費無償化など実施。子育て世帯に対する支援・負担軽減を総合的に実施する。

問 中山間地域が多い白沢地域だが荒れ地が多い。水田の作付面積拡大の方策はあるのか。ヤナギとか雑木などの伐根助成予算があるのか。またとろろ芋など特産物の生産に力を入れるべきと思うが伺う。

問 中山間地域の振興を図るべき
答 農家さんの希望にこたえていきたい

答 作付面積の拡大は農家関係機関とともに農家さんの方に計画書を配布している。伐根については農家の予定に間に合うように予算計上を考えている。特産物の生産、面積増に向けては種芋の助成など今後も支援を図っていく。

渡辺 忠夫
(日本共産党)





皆さんの声を！ アンケートにご協力ください！

左のページもご覧ください。

アンケートの目的

時代に即した適切な議員定数や、人口減少や少子高齢化といった社会情勢、議員のなり手不足といった課題への対応は急務です。本宮市議会では、地方議会議員として「地域の声」を聴き議論していくことが必要と考え、意向調査のためこのアンケートを実施します。

実施方法

令和8年5月31日まで



**裏表紙や回収場所にある用紙を投函
またはWEB**

回答方法



回収ボックスに投函

- 本宮市役所
- えぽか
- 中央公民館
- 白沢公民館

WEBで回答



皆さんの「声」をお待ちしております。

※郵送やFAXでの回答も可能ですが、郵便料などをご負担いただくようお願いいたします。
〒969-1192 本宮市本宮字万世212(FAX：34-5567) 本宮市議会事務局 まで

議員定数等調査特別委員会活動報告



1月21日(水) 第2回会議

本宮市議会での議員定数の過去の検討状況や、立候補者数の推移、県内市議会での検討状況などの現状の確認を行い、今後の運営について協議を行いました。



2月20日(金) 第3回会議

現在、市議会が抱える課題の共有と1月に開催した市民との意見交換会でのアンケート結果の共有、そして、今後検討を進める上で、より広い市民アンケートの実施が必要であるという結論に至りました。



3月19日(木) 第4回会議

第3回会議で決定したアンケートの内容について、どのような内容を聴くべきか検討を進めました。



4月6日(月) 第5回会議

アンケートや議会紹介のページを印刷前に確認し、内容やレイアウトを決定しました。

県内13市の人口と議員定数（第2回会議資料より）

市	人口	議員定数
福島市	269,154人	35人 (次期選挙から34人)
会津若松市	109,671人	28人
郡山市	316,484人	38人
いわき市	313,831人	37人
白河市	55,744人	24人
須賀川市	71,452人	24人
喜多方市	40,802人	22人 (次期選挙から20人)
相馬市	32,310人	18人
二本松市	49,503人	22人 (次期選挙から20人)
田村市	31,864人	18人
南相馬市	54,734人	22人
伊達市	54,083人	22人
本宮市	29,610人	20人 (検討中)

※人口は令和7年9月1日時点の推計人口



議会が果たすべき機能とは

議員は、市長と同じく市民に直接の選挙で選ばれます。この制度を「二代表制」といい、市長と対等の立場でより良い市のために活動することが期待されています。

市政のチェック機能

市民の要望を 市や国に届ける機能

- 予算の決定や条例の制定、副市長など市の重要な役職の選任といった市の重要な決定には議会の議決や同意が必要です。
- 議会には、市の事務が適正に行われているかを調査、検査するため関係者に出頭を求めたり、資料を請求する強い権限が与えられています。
- 市民の皆さんや地域の意見、要望を請願や陳情というかたちで受けて、市をはじめ県や国など他の機関に意見書として届けます。

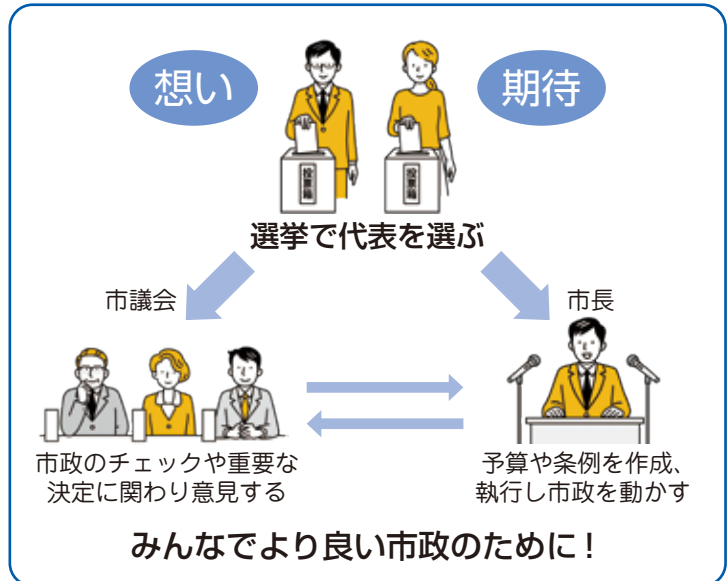
本宮市議会では

定例会……年4回、2～3週間にわたり予算や決算、条例を審議

臨時会……緊急的な事案を審議（都度）

そのほか、月に一度、執行部と意見を交わし連携していくため全員協議会を実施しています。

また、チェックや議案の審査を専門的にを行うため、分野の分かれた3つの常任委員会と、議会改革や運営を担当する議会運営委員会、議会だよりや意見交換会を担当する広報広聴委員会があり、定例会が開かれていないときも活動しています。



少なすぎると… 議会のチェック機能が弱まる
地域の声が届きにくくなる



時代に即した適切な
議員定数の検討が必要



本宮市の現状は

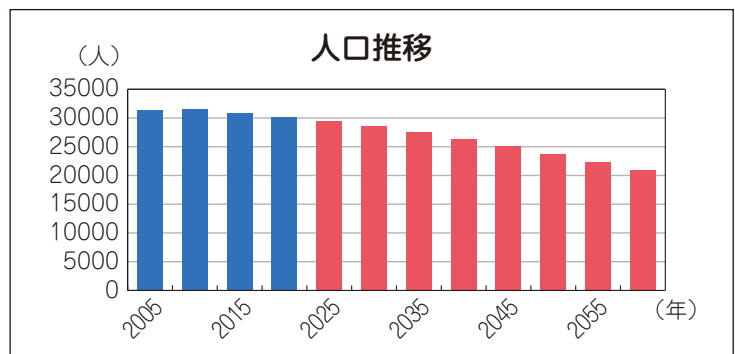
議員定数 20人

合併当時は旧本宮町、旧白沢村の議員それぞれが特例により在任し、36人の議員がいました。その後、平成19年7月の選挙で24人になり、平成27年7月の選挙から現在の定数である20人になりました。現在の議員の任期は令和9年7月末までです。

議員報酬等（委員長等でない一般議員）

議員報酬	月額34万円 (所得税等を控除する前の金額)
期末手当	3.45月分

そのほか、本会議や委員会に出席した際には日額500円の費用弁償が支払われます。



※本宮市第2次総合計画より 2025年以降は市による独自推計値

その他

議員個人や会派で研修や調査、広報などの議員活動を実施するための経費として、政務活動費が月額1万円交付されています。

本宮市議会議員定数等に関するアンケート

回答方法については裏表紙をめくり22ページをご覧ください。

Q1 あなたのことについて教えてください

Q1-1 あなたの性別と年代を教えてください（それぞれに○をつけてください）

性別 男 ・ 女

年代 10～20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

Q1-2 あなたは、どの地区にお住まいですか？（○をつけてください）

本宮 青田 荒井 仁井田 高木 岩根 関下

和田 糠沢 白岩 長屋 稲沢 松沢

Q2 本宮市議会の議員定数（現在は20名）についてあなたの想いを教えてください

Q2-1 本宮市議会が議員定数について検討する必要があると思いますか？

（○をつけてください）

検討する必要が（ ある ・ ない ）と思う。

Q2-2 なぜそう思いますか？（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 多くの自治体で検討しているから
2. 人材選出の機会を確保する必要があると思うため
3. 本宮市の人口規模に合わない考えるため
4. 現状で市民の意見がよく反映されていると思うため
5. 議員のなり手不足を懸念しているため
6. その他（自由記述）

Q2-3 本宮市議会の議員定数は何人が適正だと思いますか？

（どれかひとつに○をつけてください）

16名 18名 20名 22名 その他 _____ 名

Q3 その他、市議会への意見をお書きください。

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。